

今こそ良き 「日本的経営」を考える

埼玉県グラビア協同組合
理事長 市村清一



この度、埼玉県グラビア協同組合の理事長に就任致しました市村清一です。

当組合は、会員企業数が4社と小規模な組合ではありますが、昭和45年6月に設立された今年で53年となる歴史ある組合です。今度も理事長として組合の永続のために、1社でも多くの会員企業を増やせればと考えております。

さて、最近の新聞記事を見ていると大手企業によるM & Aで「合併」・「事業部門の買収・売却」などドラスティックな経営戦略を取る企業が以前にも増して多くなっているような気がします。軟包装と関連の深いフィルム業界でも、セロハンを祖業とした90年以上の歴史ある老舗企業が軟包装フィルム部門のみ売却され大手製紙メーカーの傘下に入ることが6月下旬に発表されました。軟包装業界に大きな功績を残し、食品包装文化の発展にも深く関わってきた企業の売却は誠に残念な限りです。投資家の『物言う株主』の出現によって、日本企業もアメリカ的経営手法である「株主重視」・「配当還元」の偏重主義に変貌していくことにいささか危惧するところでもあります。

行き過ぎた効率の追求、短期間での成果主義は日本の企業風土には馴染まないのではないかと疑問も感じるところです。

戦後の高度経済成長を支えた日本的経営とは、「年功序列」・「終身雇用」・「株式持合い」など長期的な視点に立って人間中心的な安定経営であったはずですが。

しかし最近では、雇用の多様性として「ジョブ型雇用」を政府も経済界も推進しています。

「ジョブ型雇用」が本当に働く社員にとって優しい雇用形態であるのか疑問を感じます。

また、「株式持合い」は日本独特の資本関係であるために海外投資家からは密室経営と批判され、解消を進める企業も多くなっています。情報ルールの厳格化にはデメリットもありますが、経営の安定と企業間の結束を強める意味ではメリットもあったはずですが。

日本には長寿企業が多く、200年以上の歴史を持つ企業が世界全体の65%にもものぼります。日本人の思想は、年長者を敬い、争いは避けてしっかりとした話し合いと議論を行った上で、お互いを尊重しつつ調和する。聖徳太子の十七条憲法『和を以って貴しと爲す』とした1000年以上前から続く精神が経営にも生きているからだと思えます。2000年代に入ってから、日本社会はどことなく殺伐とした雰囲気漂っています。弱肉強食的なアメリカ経営手法をストレートに取り入れるのではなく、日本古来の温厚で農耕民族的な経営手法も織り交ぜながら、「ベストミックス」な社会と経営を目指して欲しいと願っております。



全グラ情報

JAPAN

CONTENTS

巻頭言 今こそ良き「日本的経営」を考える 1

埼玉県グラビア協同組合 理事長 市村清一

組合員・単組の近況

関東グラビア協同組合 定例理事会報告 4

殺到する外国人技能実習生評価試験をこなすには、
フルタイムで動ける試験監督者を！

北海道グラビア印刷協同組合 第53回定時総会を開催 6

関東グラビア協同組合青年部 第24回通常総会を開催 8

報告者：サカタインクス(株) 石井圭太

関西グラビア協同組合青年部 第25期通常総会開催報告 10

関東グラビア協同組合青年部 interpack 2023 ～視察報告～ 16

報告者：信和産業(株) 芝田政道

GP 認定制度申請についてのお願い 15

スペイン・COMEXI、EB オフセット印刷機などを見学 18

報告者：DIC グラフィックス(株) リキッドカラー営業本部
東京リキッドカラー第2営業グループ 岡 雄太郎

目立ってしまいますが、実力もすごいのです 20

軟包装価値向上委員会

Data Watch 2023年4月データ 22

紙・板紙／不織布／粘着テープ・シート類／プラスチックフィルム・シート／インキ／
ポリプロピレンフィルム／印刷加工機械／印刷機械輸出入／アルミ箔／ポリオレフィンフィルム

紙・プラスチック・ゴム製品統計月報に見る包装印刷 2023年5月データ 28

今月の表紙

写真上段：5月19日に開催された北海道グラビア印刷協同組合の定時総会と懇親会の様子
 写真中段：7月6日に開催された関東グラビア協同組合の理事会の様子（左）と6月30日に開催された関西グラビア協同組合青年部の通常総会での集合写真
 写真下段：6月23日に開された関東グラビア協同組合青年部の通常総会（左）と、同青年部による interpack 2023視察での集合写真（詳細は本文4～19頁参照）



WE LOVE GRAVURE

GP 工場認定制度のご案内	32
第9回グラビア基礎講座をオンライン開催 日本印刷学会 グラビア印刷技術研究会	34
コンビニ中食 PB 品の値上げ実態 平均価格は中華麺74.5円、おにぎり23.3円上昇、リニューアル品の30%が減量	36
STOP！熱中症 クールワークキャンペーン	38
職場の熱中症予防対策は万全ですか？	40
サーキュラーエコノミー 廃プラ分解油によるケミカルリサイクル製品の製造・マーケティングを開始 三井化学	44

Information

サカタインクス、「ボタニカルインキシリーズ」で100%バイオマス由来 酢酸エチル使用のグラビアインキを展開	7
DIC グラフィックス、「DIC カラーガイド 第21版」を発売	9
凸版印刷、「紙製スタンディングパウチ」がクラシエ新製品に採用	14
JPI、9月26日に「包装情報ステーション」をオンライン開催	17
丸本福岡工場が GP 取得、グラビアの認定工場は68工場へ	19
三井化学、三井化学東セロの ICT 事業を吸収分割、PS 事業統合会社の経営に参画	35

GPJAPAN は全国グラビア協同組合連合会が発行する機関誌です。年間購読料は送料込みで15,000円+税です。

購読および広告出稿を希望される方は、
全国グラビア協同組合連合会
 e-mail:zenkoku-grv@utopia.ocn.ne.jp
 http://www.gcaj.or.jp/
 までご連絡下さい。

本文ページの紙は、無塩素漂白パルプから作られたものを使用しています。

発行：2023年8月10日
 発行人：田口 薫（全国グラビア協同組合連合会会長）
 発行所：全国グラビア協同組合連合会
 〒130-0002 東京都墨田区業平1-21-9
 あさひ墨田ビル
 TEL.03-3623-4046、FAX.03-3622-1814
 編集スタッフ：袖山高明（全国グラビア協同組合連合会専務理事）
 村田英雄（全国グラビア協同組合連合会顧問）
 渡邊富美子、酒井由香（同事務局）
 編集協力：(株)加工技術研究会
 印刷：(株)遊文舎

© 全国グラビア協同組合連合会2023

落丁・乱丁はお取り替えます。GPJAPANの無断複写・複製・転写・転機は、著作権法で認められているケースを除き、禁止されています。また、磁気・光磁気媒体等への記録することは禁止します。

組合員・単組の近況

関東グラビア協同組合 定例理事会報告

殺到する外国人技能実習生評価試験をこなすには、フルタイムで動ける試験監督者を！

関東グラビア協同組合は2023年7月6日（木）午後3時より定例理事会を開催した。当日は、吉原宗彦理事長（東京加工紙㈱）、田口 薫最高顧問理事（大日本パッケージ㈱）、安永研二副理事長（東包印刷㈱）、山下雅稔副理事長（㈱巧芸社）、川田雄治理事（トーホー加工㈱）、千田 敦理事（㈱東京ポリエチレン印刷社）、村野 剛理事（信和産業㈱）、諸石武士理事（日本パッケージング㈱）、小林直人理事（八潮化学㈱）、袖山高明専務理事、岸本一郎監事（㈱カナオカ）の11名が組合事務所から、橋本 章理事（橋本ゼロファン印刷㈱）、柴田里香理事（弁護士）、佐藤裕芳監事（㈱千代田グラビヤ）の3名がZoom参加した。

冒頭、吉原理事長は、「電気料金が気になる。一般家庭向けは基本料金6月から上がり、7月から若干下がる。企業に関しては、当工場の場合、燃料調整費が低い水準で推移している。電力会社の営業担当に確認したところ、上げないということなので、今のところ一安心。原材料の値上げは小康状態にある。ただし、いつ何が起きるか分からないので、日頃から、顧客とのコミュニケーションを密にしておく必要がある」との近況紹介をきっかけ



に、「人口減」「小容量化」「メタバース」「燃料電池」「インフラ」「マスメディア」「国会」「減る・無くなる・高くなる」「食の習慣の変化」「汎用品」「2025年問題」など多様なキーワードが出席理事から飛びかう中、以下の議題について議論した。

1. 全国グラビア協同組合連合会の総会について

6月9日（金）に開催された全国グラビア協同組合連合会の第53回通常総会について、袖山専務理事より報告があった。理事役員の改選では、ほとんどが再任されたが、ニューフェイスとして、川田雄治氏が全グラの理事に加わった。

2. 日印産連関連

9月13日（水）にホテルニューオータニにおい

て開催される、（一社）日本印刷産業連合会主催の「2023年『印刷の月・印刷文化典』」にて表彰される、印刷功労賞、印刷振興賞に、全グラとして、それぞれ、村田英雄氏（前・全グラ専務理事兼関グラ協組専務理事）、石山正明氏（元・東洋FPP㈱社長）を推薦していることが報告された。

なお、『印刷の月・印刷文化典』では、午後1時半より1時間、講演会が予定されているが、全グラ・関グラ協組の合同理事会の開催時間（午後零

時半～午後3時)と重複しているため、合同理事会の開催時間を午後零時～午後2時半までと変更し、午後2時45分から始まる記念式典から参加する件について提案があり、了承された。本件、全グラの理事に諮り最終決定する予定。

全グラからの2023年度の日印産連派遣委員として、次の方々をお願いすることになった。

〈ステアリング・コミティ〉

- * 運営委員会 田口 薫会長 (関東グラフィア協組、大日本パッケージ株)
- * 「日印産連ブランドデザイン」再構築プロジェクト 諸石武士理事 (関東グラフィア協組、大日本パッケージ株)
- * 取引改善推進プロジェクト 諸石武士理事 (関東グラフィア協組、大日本パッケージ株)

〈SDGs 推進活動〉

- * 労働安全衛生部会 袖山高明専務理事 (専務理事)
- * 環境マネジメント部会 安永研二副会長 (関東グラフィア協組、東包印刷株)
- * 環境自主行動計画推進WG 安永研二副会長 (関東グラフィア協組、東包印刷株)
- * グリーンプリンティング推進部会 山下雅稔理事 (関東グラフィア協組、(株)巧芸社)、吉原宗彦理事 (同、東京加工紙株)
- * GP周知活動WG 山下雅稔理事 (関東グラフィア協組、(株)巧芸社)

〈広報活動〉

- * 広報部会 竹下晋司副会長 (関西グラフィア協組、(株)ダイコー)
- * 情報共有プラットフォーム構築WG 袖山高明 (専務理事)

〈顕彰委員会〉

- * 日印産連表彰選考委員会 田口 薫会長 (関東グラフィア協組、大日本パッケージ株)
- * 環境優良工場表彰審査委員会 橋本 章監事 (関東グラフィア協組、橋本ゼロファン印刷株)

山下雅稔副理事長より、6月22日に開催された日印産連の第71回グリーンプリンティング (GP) 認定委員会において、久々にグラフィア工場として、(株)丸本 (西川暁大社長) の福岡工場 (福岡県飯塚市平恒477-21) がGP認定工場となったとの報告があり、全グラとして掲げる70工場の目標達成への協力依頼があった。

かねてより理事会から要望のあった、機関誌GPJAPANへのGPマーク印刷表示について、2024年1月号から対応できるようになったことの報告があった。

3. 外国人技能実習生評価試験

試験監督者は9名いるが、フルで動けるのは3名しかいない。このため、「工場が休みの時に実施して欲しい」「1日で実施して欲しい」と言われても、対応できない状況にあるとの報告があった。これまで90名の試験をこなしてきたが、残り70名強が待機中。悲鳴に近い業務逼迫の解消には、OBに協力を仰いで、専任の試験監督者を確保するなり、要員を増やす必要がある。これは、全グラ理事会でも対応策を早急に練る必要がある。皆さんご協力とアイデアを！

4. 軟包装イメージアップキャンペーン資料

安永研二副理事長より、軟包装の必須基本機能を、一般の人にも分かりやすい文言で表現するための修正提案があり、議論した。時間切れとなったが、後日、メールで賛否を問い、Ver.02の改訂版が出来上がった。今月号の20頁参照。

5. その他

- ・石化製品の市況推移
- ・レンゴアの2023年6月29日リリース「当社子会社サン・トックス株式会社と三井化学東セロ株式会社の経営統合 (合併) ならびに統合会社株式の取得 (子会社化) に関するお知らせ」

組合員・単組の近況

北海道グラビア印刷協同組合

第53回定時総会を開催

北海道グラビア印刷協同組合（若狭博徳理事長、㈱北海サンコー）は、2023年5月19日（金）、札幌グランドホテルにて、第53回定時総会を開催しました。

本年は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことを受け、感染対策を大きく緩和した中での開催となりました。久しぶりに皆さんの顔を拝見し、お変わらない事を確認することが出来ました。

総司会および事務局を兼務する大野寿之副理事長（極東高分子㈱）が開催を宣し、若狭理事長が挨拶をしました。

次のいずれの議案についても満場一致で承認されました。

第1号議案 2022年度事業報告、決算報告及び監査報告の件

第2号議案 2023年度事業計画、収支予算の件

第3号議案 役員改選の件

第4号議案 組合員新規加入の件

〈2023年度事業計画〉

基本方針

全国グラビア協同組合連合会の指導のもと、関



連業界団体と連携を密にして環境関連の諸問題に取り組んで参ります。

事業計画

1. 環境対策の推進

- ①地球温暖化防止のためのCO₂排出量削減への取り組み
- ②節電対策の研究と推進
- ③作業場の環境改善の啓蒙と推進



- ④海洋プラスチックごみ問題の取り組み

2. 親睦ゴルフ会

10月開催予定

引き続き、会場を同ホテル17階の「青雲」に移し、賛助会員とともに懇親会を開催しました。大東印刷(株)の渡邊 武社長の司会によりスタートし、若狭理事長の挨拶、大野副理事長による乾杯の発声により、酒宴となりました。

近年の原材料事情、エネルギー関連、為替、ウクライナ戦争、2024年物流問題等、話題に事欠かない昨今ではありますが、我々の産業としての社会的ポジショニング向上のために何をなすべきか、仕事の価値向上に向け、我々は活動して参ります。

宴の途中、同日の朝より開催した小樽カントリー新コースでの親睦ゴルフコンペの表彰式を行いました。コンペには総勢12名の参加をいただきました。

本年は北海道グラビアに初参加の方が複数名おられたことから、その皆さんにスピーチをいただきつつ、さらに中締めのご挨拶をいただき、無事閉会となりました。

Information

サカタインクス、「ボタニカルインキシリーズ」で100%バイオマス由来酢酸エチル使用のグラビアインキを展開

サカタインクスは、同社の独自ブランドで、インキの固形分中（樹脂や添加剤など）に10%以上の植物由来成分を使用したインキ「ボタニカルインキシリーズ」において、100%バイオマス由来の酢酸エチルを使用したグラビアインキを展開していく。

印刷の乾燥工程において、インキ中の酢酸エチルが蒸発し、燃焼装置によって処理されるが、その際にCO₂が発生する。そこで100%バイオ

マス由来の酢酸エチルを含むボタニカルインキを使用することで、カーボンニュートラルの観点から、CO₂の削減が期待できる。



組合員・単組の近況

関東グラビア協同組合青年部

第24回通常総会を開催

報告者：サカタインクス(株) 石井圭太

関東グラビア協同組合青年部（原 卓実部長、三洋グラビア(株)）は、2023年6月23日（金）午後3時から、石川県・山代温泉「ゆのくに天祥」にて、第24回通常総会を開催しました。

冒頭、原部長からの挨拶では、昨年6月からの1年間の活動内容の報告がありました。その中で、幹事メンバーでは集合形式やweb形式と対話方法を駆使しながら交流を深めた一方、会員全体での交流の面では希薄になってしまった点を反省事項に挙げられました。コロナウイルスも本年5月に感染症法上の位置付けが「5類感染症」に変更されたことを受け、来年度は会員メンバーとの交流を増やし、より若さと活気に溢れた活動をしていきたいとの決意表明がありました。

本総会は、原部長による議案審議のもと、第1号議案「令和4年度の事業報告、収支報告、監査

報告」および第2号議案「令和5年度の事業計画（案）、収支予算（案）」が全会一致で可決されました。

通常総会後には、本年5月にドイツで開催された「interpack 2023」視察ツアーの報告会を行いました。青年部ツアーを代表し、滝下 慧副部長（東京加工紙(株)）および、DIC ツアーを代表し青年部所属会員のDIC グラフィックス(株)の宮本達郎様の2名から発表がありました。サーキュラーエコノミーおよびサスティナビリティの実現に向けて、コンバーターや設備、フィルム他、多くの材料を取り扱う各メーカーが、「モノマテリアル化」や



「紙化」されたパッケージを実現するためのさまざまな提案を行っていたことを中心に発表が行われ、当初の予定時間を延長する盛り上がりを見せました。

さらには、全国グラフィア協同組合連合会の田口薫会長や、関東グラフィア協同組合の吉原宗彦新理事長がご寄稿下さった叱咤激励の文章を賜り、我々を後押ししていただきました。

また、石川県を訪れ、建設重機を扱うコマツの粟津工場や日本自動車博物館、航空プラザでの小型飛行機からジェット戦闘機まで様々な乗り物の歴史を学びました。加賀の伝統工芸村「ゆのくにの森」では、石川県が国内シェア90%以上を誇る金箔をトレーに貼り、オリジナルの装飾を施す体

験イベントに参加。各自、本職とは異なる物造りに没頭し時間を忘れて貴重な体験をしました。

最後に^{あとかのすみよしじんじや}安宅住吉神社を訪れました。今からおおよそ800年前、兄の源頼朝に追われて落ちのびる悲運の武将義経とそれをかばう弁慶一行が安宅の関で関守の富樫に疑われながらも難を逃れたとの伝承から、難関突破に靈験ありとされ、日本唯一の難関突破の守護神となっているそうです。コロナウイルスにより日常に大きな変化が生じ、あらゆるものが高騰など、未曾有の出来事を目の当たりにし続けている中、グラフィア業界の存続とさらなる発展を会員一同で祈念し、第24回通常総会の締め括りとなりました。

Information

DICグラフィックス、「DICカラーガイド 第21版」を発売

DICグラフィックスは、国内の色見本帳のスタンダードになっているDICカラーガイドシリーズの「DICカラーガイド 第21版」を発売した。

第21版はこれまで同様、色番号体系やチップサイズは初版からの基本的な仕様を踏襲し、パッケージは第20版から採用している片手で開けられるマグネット仕様になっている。DICカラーガイド収録色を再現するためのインキ配合比率の目安が確認でき、巻末には、各色の近似色彩値（CMYK値、RGB値、マンセル値）を掲載。また、カラーガイドの使い方を分かりやすく解説する冊子が付属、DICカラーガイド関連サービスを紹介している。

価格はカラーガイド本体3巻セットで15,000円（税抜）。全国の大手画材店や一部書店、DICグラフィックス社オンラインショップ「DICカラーストア」（<https://shop.dic-graphics.co.jp/>）より購入できる。

【DICカラーガイド 第21版】

収録されている色番号：1巻（1～257）明

るく華やかな色調、2巻（258～501）渋く落ち着いた色調、3巻（502～654）グレイッシュカラー／Fグロス標準色／蛍光色／（一部欠番あり）メタリックカラー／無彩色

収録色数：652色

サイズ：200×600mm（カラーチップ1枚のサイズは13×60mm）※1色当たり1ページ、チップ数13枚



組合員・単組の近況

関西グラビア協同組合青年部

第25期通常総会開催報告

関西グラビア協同組合青年部（木田守彦部長、昭和グラビア印刷株）は、2023年6月30日（金）午後6時から、ANAクラウンプラザホテル大阪「末広の間」（大阪府大阪市北区堂島浜1-3-1）において30名参加の下、第25期通常総会を開催しました。



木田青年部部長

総会は、事務局の司会によって進行し、開催に際し木田青年部部長が、多数の会員に出席いただいたことに謝意を示すとともに、「3年近く続いた新型コロナウイルスにより青年部活動は翻弄されましたが、この第25期の活動は全て滞りなく開催することができ、これも全て会員の皆様のご協力あってのことだと感謝致します。第26期は5年ぶりとなる青年部全国大会が関東グラビア協同組合青年部の企画で11月17日、18日の二日間東京にて開催されます。既に事前参加者調査票が皆様にFAXされ、回答いただいているかと思

います。全国の青年部が集まる機会は非常に貴重でとても良い経験になりますから、是非皆様ご参加をお願いします。私も青年部に加入して気付けば20年、来年には青年部卒業の歳になります。当時は米谷社長に言われるがまま加入しましたが、加入して良かったと思ってもらえる組合にしたいとおっしゃった米谷社長の言葉通り、振り返ってみれば本当に加入して良かったと思っています。青年部は若い方が増えていて平均年齢も少しずつ若返ってきており、心強く思っています。今後も米谷社長の意志を継いでそのように思ってもらえる会にしていきたいと思っていますので皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い致します」と開会挨拶をしました。



続いて司会より本日の通常総会は定足数を満たした旨が告げられ、木田青年部部長が議長に選任され議案審議に入り、第1号議案から第3号議案が賛成多数で可決され、すべての審議を終了しました。

【決議事項】

第1号議案 令和4年度 事業報告及び収支決算に関する件

第2号議案 令和5年度 事業計画案及び収支予算案の承認の件

第3号議案 任期満了に伴う役員改選の件

総会後は委員会を開催し、教育研修委員会と組織交流委員会に分かれ期中の青年部行事（交流会、講演会、年末情報交換会）について活発な意見交換を行いました。その後、引き続き同ホテルの別会場にて懇親会を開催しました。サカタインクス(株)の岡室部員の司会進行によりスタートし、総会

において新たに選任された森脇青年部部長から、「今期の青年部部長を仰せつかりました。総会挨拶で木田さんが青年部加入の経緯を話されましたが、私が加入したのは12年前父親を亡



森脇新青年部部長

くしたときに竹下理事長が応援してくださり、青年部に誘っていただいたのがきっかけです。そのことで同世代の方々とも多くの出会いがあり、私自身加入して本当によかったと思っています。私は賛助会員という立場ですが、青年部は組合員、賛助会員という概念がないこともあり今回の役を引き受けることとなりました。それでも正直なところ、自分でいいのだろうかという気持ちはあったのですが、竹下理事長をはじめ米谷社長、堀川会長など多くの先輩方にお世話になり勉強させて



いただきましたので、この役を引き受け次の世代へ繋いで行くことで少しでもその恩返しができるのではないかと考えています。今年は5年ぶりの青年部全国大会というビッグイベントがある中で部長ということで緊張感がありますが、関東、東海、九州と一緒にあって青年部を盛り立てていきたいと思っていますので、皆様ご協力をどうぞ宜しくお願い致します」と就任挨拶しました。乾杯の音頭では来賓の竹下理事



竹下理事長の発声で乾杯

杯の音頭では来賓の竹下理事から一言、「米谷さんが理事長だった頃にいつも声を大にして賛助会員も組合員もないじゃないかとおっしゃっていました。そのような発想で斬新に切り開い

ていく米谷さんが私はとても好きでした。その意志を継ぐ一人として、今期森脇さんが青年部部长に就任してくれたことを非常に嬉しく思っています」と皆に伝え、乾杯の発声をし、賑やかに宴会が開催され、名刺交換や情報交換、歓談の輪が繰り広げられました。

途中、偶然会場近くにいらした賀谷ゼロファン(株)の賀谷さんに飛び入り参加いただき、懐かしい再会に会場が一段と盛り上がりました。その後、新加入者、青年部担当者交代となる新旧担当者、青年部規約により卒業となる方、そして飛び入り参加の賀谷さんからそれぞれ一言ずつ挨拶をいただき、最後は新たに副部長に就任した竹下 元青年部副部長の中締め挨拶と一本締めで午後8時50分すべてを終了しました。

SNAPSHOTS



新たに青年部の担当となったナベプロセス株の古瀬氏



新たに青年部の担当となった大日精化工業株の杉山氏



青年部新加入の挨拶をする富士特殊紙業株の埜口氏



青年部を卒業する大宝製袋株の尾関氏

SNAPSHOTS



飛び入り参加の賀谷氏



中締め挨拶をする竹下青年部副部長



SNAPSHOTS



Information

凸版印刷、液体一次包材「紙製スタンディングパウチ」がクラシエ新製品に採用

凸版印刷が開発した「紙製スタンディングパウチ」を採用した、クラシエホームプロダクツ(株) (クラシエ) の新製品のヘアオイル「プロスタイル ニュアンスメイクオイル 詰替用」が2023年9月29日(金)より販売を開始する。

紙の使用、フィルムの薄肉化、水性フレキシソ印刷の活用により、プラスチック使用量を約39%^{※1}、CO₂排出量を約23%^{※2}削減しながら、内容物のヘアオイルにも耐えられる材質構成を実現した。なお、紙の比重が包装材全体の中で最も大きいため、「紙製容器包装」に分類され、「紙マーク」表記となる。

また、対象ボトルの口径に合わせて口元の細かいパウチ形状を設計し、口元をボトルに差し込んで安定して詰め替えが可能となった。注ぎ口

に紙の特性を活かした直線エンボス形状を採用することで、口元が立体的に折れ、エンボスに沿って膨らむことで、ボトルに差し込みやすく注ぎやすい形状になっている。

※1：同社調べ。プラスチックを使用したラミネート包材との比較

※2：同社算定。プラスチックを使用したラミネート包材との比較。CO₂排出量の算定範囲はパッケージに関わる①原料の調達・製造、②製造、③輸送、④リサイクル・廃棄



クラシエ「プロスタイル ニュアンスメイクオイル 詰替用」



GREEN PRINTING JFPI

GP 認定制度申請についてのお願い

GP マークの製品表示が可能となりました



全国グラビア協同組合連合会

平成20年よりグリーンプリンティング認定制度の受付（グラビアは第7回より開始）が始まっています。この度、(株)丸本 福岡工場（福岡県飯塚市平恒477-21）が認定となり、これまでの認定工場は、**68事業所**となっております。今年度の目標は70認定工場です。

GP 認定の取得によって、VOC 排出削減、CO₂の排出削減等の「環境保全」「省エネ・省資源」と「安全・安心」の確約をし、差別化が進む社会に対応し長期不況の厳しい中で勝ち残る最大の武器になると考えます。現在「日産連」においてGPの周知活動が行われ、社会的な認知向上が進んでおります。

毎月「日産連」において説明会が開催されております。この機会を逃さず参加されることを望みます。なお、グリーンプリンティング認定制度に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館3階

日産連グリーンプリンティング認定事務局

(TEL:03-3553-6123 FAX:03-3553-6145 E-mail:gp-nintei@jfpi.or.jp web:http://www.jfpi.or.jp/)

※なお、GP マークが軟包装グラビア印刷製品（袋等）に表示が出来るようになりました。
「グリーンプリンティング（GP）マーク製品表示の手引き」をご参照願います。

【GP 制度概要説明会開催について】

- 毎月原則2日開催
- 参加費無料
- GP 制度と申請方法を分かりやすく説明
GP 認定制度の概要、GP 認定取得、GP マーク表示のメリット、GP 申請方法の概要等
- 当日、ガイドラインをお渡しします。
- GP 申請を希望する方で、まだガイドライン等を読んでいない方はこちらに参加の上、下記申請書作成説明会にご参加下さい。
- 各印刷部門共通です。
- 印刷業界内外問わず誰でも参加できます。
- 参加希望者は事務局にお申込み下さい。

9月4日（月） 15:00～16:30 Zoom 開催

【GP 申請書作成説明会開催について】

- 毎月原則20日開催
- 参加費無料
- 申請に必要な次の内容を具体的に説明
GP 申請書の書き方
添付書類作成方法
現地審査の内容等
- チェックシート記入の上、ご参加下さい。もちろん、不完全でかまいません。
- 参加希望者は事務局にお申込み下さい。

【グラビア印刷部門】

8月22日（火） 13:00～15:00 Zoom 開催
9月20日（水） 15:10～17:10 Zoom 開催

組合員・単組の近況

関東グラビア協同組合青年部

interpack 2023 ~視察報告~

報告者：信和産業(株) 芝田政道

interpack について

interpack は 3 年に 1 回の周期で催される、世界最大の国際包装機械・資材・製菓機械の総合展示会。最初の開催が1958年。60年以上の歴史あり。

正式名称：interpack Processing & Packaging (和訳：国際加工・包装産業展)

開催月日：2023年 5 月 4 日～10日（7日間）

開催都市：ドイツ・デュッセルドルフ

訪問者数：約143,000人（前回170,500人）

訪問国数：156カ国（前回168カ国）

出展社数：2,807社（前回2,865社）

ホール数：18ホール

展示面積：174,000m²

interpack の展示については大きく、【循環経済】【資源管理】【デジタル化技術】【SAVE FOOD】の4つのテーマを掲げていました。

今回の展示会で特に感じられたのは、各ブースでモノマテリアル化、減プラ化を積極的にPRしており、すでに製品化されている商品が多かった点は、TOKYO PACK と比較しても環境配慮化が先行していると感じました。日本は環境適応に遅れを取っている印象を強く持ちました。

展示会場での最新情報の収集の他に、欧州のスーパーマーケットに並ぶ商品を見学して参りましたが、物価が非常に高く（日本の1.5～2倍）、なかなか手が出ませんでした。

各商品を見て回る中で、日本と比較して2つの大きな違いに気付きました。

1つ目は、包材が全般的に薄膜であった点。

2つ目は、トップシールされた容器が圧倒的に多かった点。

3つ目は、紙（板紙が中心）の包材が非常に多

かった点。

補足として、上述のような驚きはあったものの、食品が容器内の一部に偏りがあったり、パッケージの印刷部にはピンホールやツツ汚れ、見当ズレなど多くの印刷不良品が堂々と配列されていた点は、本当に驚きでした。

今回のツアーで感じたことは、日本では出来ない、モノマテリアル化、紙化、リサイクルの仕組みが出来ていることと、国民が環境を意識した生活をステータスとしていたこと、環境へはコストをかけても良いという考えがあるということで、日本との違いを痛感しました。

最後になりましたが、ツアーでの経験は、食品パッケージのみならず、欧州では、環境を国民が意識していることと、仕組みがあるということを大きく感じました。まだまだ日本では出来ていませんが、環境への配慮がありながら包装パッケージへのこだわりを、青年部から各地に発信できるような動き、意識改革が出来たら良いと思っております。



Information

JPI、9月26日に「包装情報ステーション」をオンライン開催

日本包装技術協会（JPI）は、2023年9月26日（火）午後1時～3時まで、「包装情報ステーション」をオンライン開催する。テーマは「プラスチック汚染に関する国際条約の策定に向けた欧州、米国と国連の動き」、講師は（一財）化学研究評価機構 食品接触材料安全センター 情報調査・広報室の石動正和室長。定員は300名。参加費は、JPI法人・個人会員は無料、一般は1万1000円（税込）。

環境問題により、プラスチック包装材料へ規制の動きが厳しくなっている。この間、およそ100カ国がシングルユースプラスチック製品を規制する国内法を制定した。欧州では、2022年9月、プラスチック製食品接触材料成形品のリサイクル規則が改正され、同年11月包装及び包装廃棄物規則改正案が公表された。22年、国連でプラスチック汚染防止に係る政府間交渉委

員会が設立、これまでに2回の会合が開催され、24年末、強制力ある国際条約が取りまとめられる可能性が高くなっている。こうした国連の動きと連動し、22年8月、欧州を中心とするプラスチック汚染を終焉させる高い野心の連合（HAC）が設立された。23年5月、日本政府はこの問題解決に影響力を行使するためHACに加盟した。23年5月、米国はプラスチック汚染防止を終焉させる国際協団体（EPPIC）設立を公表した。HACは問題解決に向けバージンプラスチック生産量削減を、EPPICは問題解決に向けた技術開発の重要性を示唆している。同講演では、こうしたプラスチック包装材料の環境問題を巡る世界の動きを紹介する。

申込は、JPIホームページ（<https://www.jpi.or.jp/>）より申し込む。

スペイン・COMEXI EB オフセット印刷機などを見学

報告者：DIC グラフィックス(株) リキッドカラー営業本部
東京リキッドカラー第2営業グループ 岡 雄太郎

当社は interpack 2023 視察の一環で、2023年 5 月12日（水）にスペインの COMEXI を見学して参りました。

COMEXI はスペインのジローナに本社を置く軟包装向け印刷関連の機械メーカーで、100カ国以上に販売網を敷き、日本では(株) SCREEN GP ジャパンが代理店となっています。

1954年創業の歴史あるメーカーで、2013年には技術センター「CTEC」を設立し、今回はこの施設を中心に見学しました。

「CTEC」では以下の5つの設備のデモンストラーションを見学しました。

- EB オフセット印刷機
COMEXI CI evolution
- EB フレキソ印刷機
COMEXI F2 evolution
- デジタル印刷機
COMEXI DIGIPRESS
- ラミネート機
COMEXI SL2 evolution



CTEC 内の見学風景



プレゼンテーションの様子

- 全自動スリット機
COMEXI S1 DT

中でも今後の展開が注目される EB オフセット印刷については、COMEXI は世界で27台の導入実績を持ち、アジアでは4台（中国・韓国・タイ・フィリピン）が稼働しています。

なお、インキは当社のグループ会社である Sun Chemical 製をご採用いただいております。印刷機は COMEXI、インキは Sun Chemical がグローバル市場をけん引しています。

今回見学した EB オフセット印刷機「COMEXI CI evolution」は、センタードラム方式のオフセット7色＋フレキソ1色のユニットを持ち、「オフセット印刷でフレキシブルパッケージ製造を可能にする」ユニークな印刷機で、主な特徴は5点あ



COMEXI CI evolutionの見学風景

ります。

- 脱溶剤、VOCフリー、光重合開始剤フリーの印刷
- 7色高色域印刷による高精細印刷
- フレキシユニットによる白印刷での隠ぺい力やOPニス印刷での機能性の向上

- EBによる瞬間硬化
- CTP版による省スペース化

熱乾燥工程がないため、エネルギー使用量とCO₂排出量の削減に貢献できるSDGs対応型の画期的な印刷システムでした。

当社は今後の日本国内への展開を見据え、Sun Chemicalがグローバル市場で培った経験と、インキ・接着剤メーカーとしての技術開発力で、EBオフセットインキの自社開発に取り組んでおります。「作りたい包装をEBオフセットで作る」ためにコンバーティングプロセス全体を考慮して、インキ・接着剤の両軸からご提案させていただきます。

見学したその他の設備も、省エネルギー・トレーサビリティ対策・自動化など世界共通の課題の解決をターゲットにしており、将来の設備展開へ非常に参考になるものばかりでした。

最後に、今回の見学を調整していただいたCOMEXIの皆様とSCREEN GPジャパンの皆様にご場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

Information

丸本福岡工場がGP取得、グラビアの認定工場は68工場へ

九州グラビア協組のメンバーで、包装用プラスチックフィルムの印刷・加工などを手掛ける(株)丸本(長崎県長崎市田中町593-1)の福岡工場(福岡県飯塚市平恒477-21)が、2023年6月22日開催の第71回グリーンプリンティング(GP)認定委員会において新たにGP認定を受けた。これにより、グラビアの認定工場は68工場となった。

7月28日(金)にZoom開催された日印産連主催のGP工場交流会に同社の西川暁大社長が登壇し、「当社は、本社は長崎県、グラビア印刷工場は熊本県と福岡県にあり、事業としては印刷、ラミネート、スリット、製袋、その他にも包装資材の卸などを手掛けています。今回はおかげ様で福岡工場がGP認定を取得でき、非

常にありがたいと思います。GP取得のきっかけは、1つはSDGsの流行、もう1つは昨今プラスチックに対して厳しい目が注がれていることもあり、GPを勉強することで、みなさんに目を向けていただき、継続的に注文をいただきたいことからです。これを機に、今後も社員とともに勉強させていただきたいと思います」とコメントした。



丸本の西川暁大社長